

第653回番組審議会報告
2020年11月10日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員 島田智委員
太平信恵委員 津村記久子委員 東野博昭委員 細見良行委員

■毎日放送出席者

梅本専務 虫明常務 浜田取締役 高山取締役 磯澤取締役
奥田信幸報道局長 奥田雅治ドキュメンタリー報道部長
和田ディレクター 津田コンプライアンス室長 中西番組審議会事務局長

◆審議事項

テレビ番組「映像'20 支え合い～中国残留邦人と介護施設～」(2020年9月27日(日)深夜1:05～2:05放送)について意見交換した。なお今回の番組審議会は、新型コロナウイルス感染防止のため、Web会議の形式で開催された。

◆番組概要

兵庫県尼崎市にある通所介護施設「三和之家」。中国残留邦人が高齢化し、言葉や文化の壁で日本の介護施設に馴染めないケースを知った田山幸雄さん(61)、華栄さん(62)夫妻が中国残留邦人が通いやすい介護施設を目指して今年1月に開所した。戦後75年の夏、高齢化した中国残留邦人たちと新型コロナに翻弄されながらも懸命に施設の運営を続ける田山さん夫婦の日々を見つめる。

【各委員の主な意見は次の通り】

- *全体を通して非常に笑顔が印象的だった。非常に過酷な体験をされてきた方ばかりだが、支える側も支えられる側も笑顔があふれていた印象。
- *中国残留邦人でありながら、介護サービスを受けなければならないという社会の中の疎外された人たちを描けていて、なかなかいいところに着目された番組だなと感動して見た。歌の場面とか明るい場面があるので、少し暗いテーマでありながら、そういう生き生きしたところが見られてよかったと思った。

- * コロナ禍での運営資金の大変さ、持続化給付金が適用外という現実、困難な状況があること。知ってもらうための活動を行うことで運営資金の募金活動が始まるなど現状の課題の指摘だけでなく、参考になる点も多くあった。
- * 字幕の入り方が中途半端なのが気になった。もっと字幕を積極的に入れたほうがいいんじゃないかと思った。湯浅真由美さんのナレーションがすごく落ち着いて心地よかった。
- * 定番の安心感はあるがもっとユニークな見せ方はないものかと思う。こんな見せ方は初めてだ、と驚くような新しい手法が入ったものを見せてくださいという思いはずっとある。
- * 中国残留邦人、介護施設、コロナ禍という三つの問題を詰め込んだので、いずれの問題もやや消化不良に終わっているところは否めない。何か物足りなさを感じた。
- * 戦争の不条理とコロナ禍の緊急事態が複合的に紹介されてしまうことによって、このドキュメンタリーのテーマである介護施設と中国残留邦人との関係性が薄まってしまったのではないか。
- * 「映像」で過去に取材した人や場所にあらためてもう一度行く、あるいはその人に会うような企画をやってもいいのではないかと思う。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

- * 三つのテーマが多過ぎたのではないかという指摘について、取材した者としてはどうしても取材した分は出したいジレンマもあり至らなかった面もあるかもしれない。それぞれの状況を淡々と描くことで、強いメッセージ性を出さなくても何か感じてもらえることがあればいいと思いこういう形になったが、すごく勉強になった。
- * 中国在留邦人の方々が高齢化して、介護施設などで言葉の問題で苦勞されていることを取り上げて伝え続けることで、改めて考えるきっかけになるのではないかと再認識した。

以 上